

中性子施設連携活動部会の部会活動報告及び次年度活動計画

部会長 加美山 隆

1. 本部会の目的

中性子施設連携活動部会は、中性子利用施設相互の連携に関する活動を支援し、中性子科学分野の発展に貢献する。

2. 部会員数

16名 (2025年2月28日現在)

3. 活動内容(2023・2024年度)

1) 中性子施設間連携に関する活動を促進する。

・中性子科学会の部会としての施設連携活動のあり方について関係者・経験者・放射光の識者と懇談しながら方針を決定。

✓施設グループとして現在の運転資源をキープしていくため、人材面、技術面、運営面でのセーフティネット化を目指したい。

✓全施設で共通に合意できる施設間協力体制の構築は難しいため、まずはJCANS型の情報共有の場を構築する。

2024年12月の部会総会で承認。

2) 国内外の中性子関連施設に関する情報交換を推進し、施設利用のさらなる活性化を支援する。

・3月にオンラインで施設情報共有のための懇談会を開催予定。

✓各施設現状の情報共有を主要な議題とする。

✓次期部会長の選出に関する議論。

3) 他部会・委員会等と連携し、中性子施設との連携が必要な人材育成スクールなどの学会の活動を支援する。

✓現状では施設毎にスクール等を実施。

✓部会宛の協力要請は未だなし。

4) 本学会及び関連する学術講演会に積極的に参加し、情報発信する。

・産業利用推進協議会における施設紹介に協力。

5) 関連する国内外の量子ビーム諸施設と中性子施設の間の協力の情報を学会員に提供する。

・各施設が施設情報を任意に随時更新できるHPの検討は始めてみたが、常設できるサーバーをどうするかが課題。

6) そのほか、適切な中性子施設間連携活動を随時実施する。

・2施設間から連携活動の例を作る方向で試験的に活動中。

7) 中性子施設情報の交換や提供などのためのメーリングリストを作成し、運用する。

・現状は少人数なので、メールアドレスのリストで代用中。

3. 次年度活動計画

・施設情報交換会の年2回定期的な開催。

・部会に参加する施設の増強。

・学会等への部会としての参加。

・施設連携活動の実績の増加。